

2024年3月期 第3四半期決算

2024年1月31日

 大同特殊鋼株式会社

■ 23年度第3四半期決算の概要

- ▶ シリコンサイクルの下降局面での受注減、在庫調整の長期化により高機能材料の出荷が落ち込み、前期対比で営業減益
- ▶ 足元の10-12月は売上数量が回復基調にあること、原燃料価格が安定的に推移していることから、営業利益は前年同期並みまで回復
- ▶ 今後、自動車関連需要や高機能材料の回復ペースは注視が必要

(千t・億円)

	2022年 第3四半期実績			2023年 第3四半期実績		
	上期	10-12	合計	上期	10-12	合計
鋼材売上数量	540	296	836	529	286	815
売上高	2,819	1,528	4,347	2,886	1,498	4,384
営業利益	232	145	377	190	141	331
経常利益	241	150	391	211	143	354
特別損益	▲ 4	▲ 1	▲ 5	▲ 27	▲ 6	▲ 33
法人税他	▲ 54	▲ 50	▲ 104	▲ 69	▲ 45	▲ 114
親会社株主に帰属する 当期純利益	183	99	282	115	92	207

前年差	
うち10-12	合計
-10	-21
-30	37
-4	-46
-7	-37
-5	-28
5	-10
-7	-75

■ セグメント別売上高・営業利益(前年同期差)

(億円)

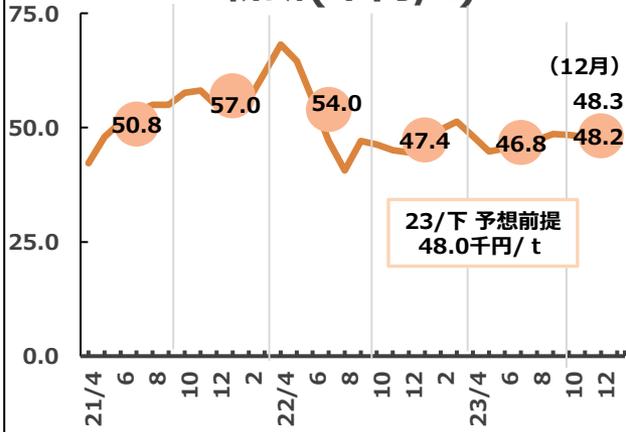
	2022年度実績		2023年度実績								前年差	
	第3四半期		1Q		2Q		3Q		第3四半期			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
特殊鋼鋼材	1,622	85	553	28	536	35	586	59	1,675	122	53	37
機能材料・ 磁性材料	1,673	201	513	33	513	38	505	41	1,531	112	-142	-89
自動車部品・ 産業機械部品	752	59	241	5	273	21	269	26	783	52	31	-7
エンジニアリング	135	7	50	5	60	6	61	7	171	18	36	11
流通・サービス	165	25	62	9	85	10	77	8	224	27	59	2
合計	4,347	377	1,419	80	1,467	110	1,498	141	4,384	331	37	-46

(千t)

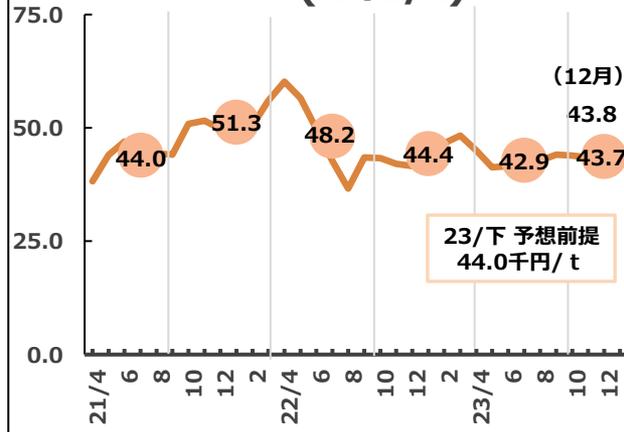
鋼材売上数量 (単体)	836	266	263	286	815	-21
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

原材料価格

新断(千円/t)



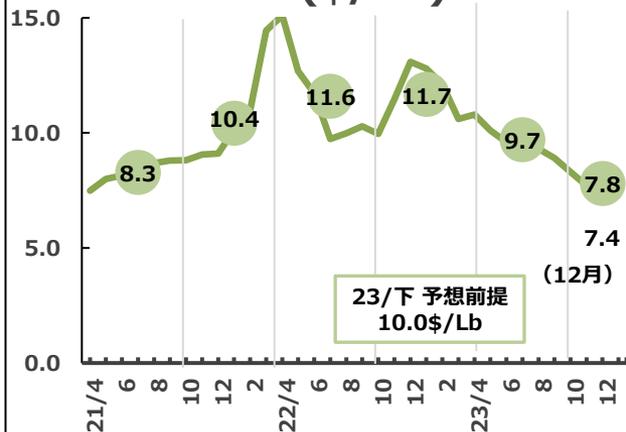
H2(千円/t)



原油トバイ(\$/B)



NI(\$/Lb)



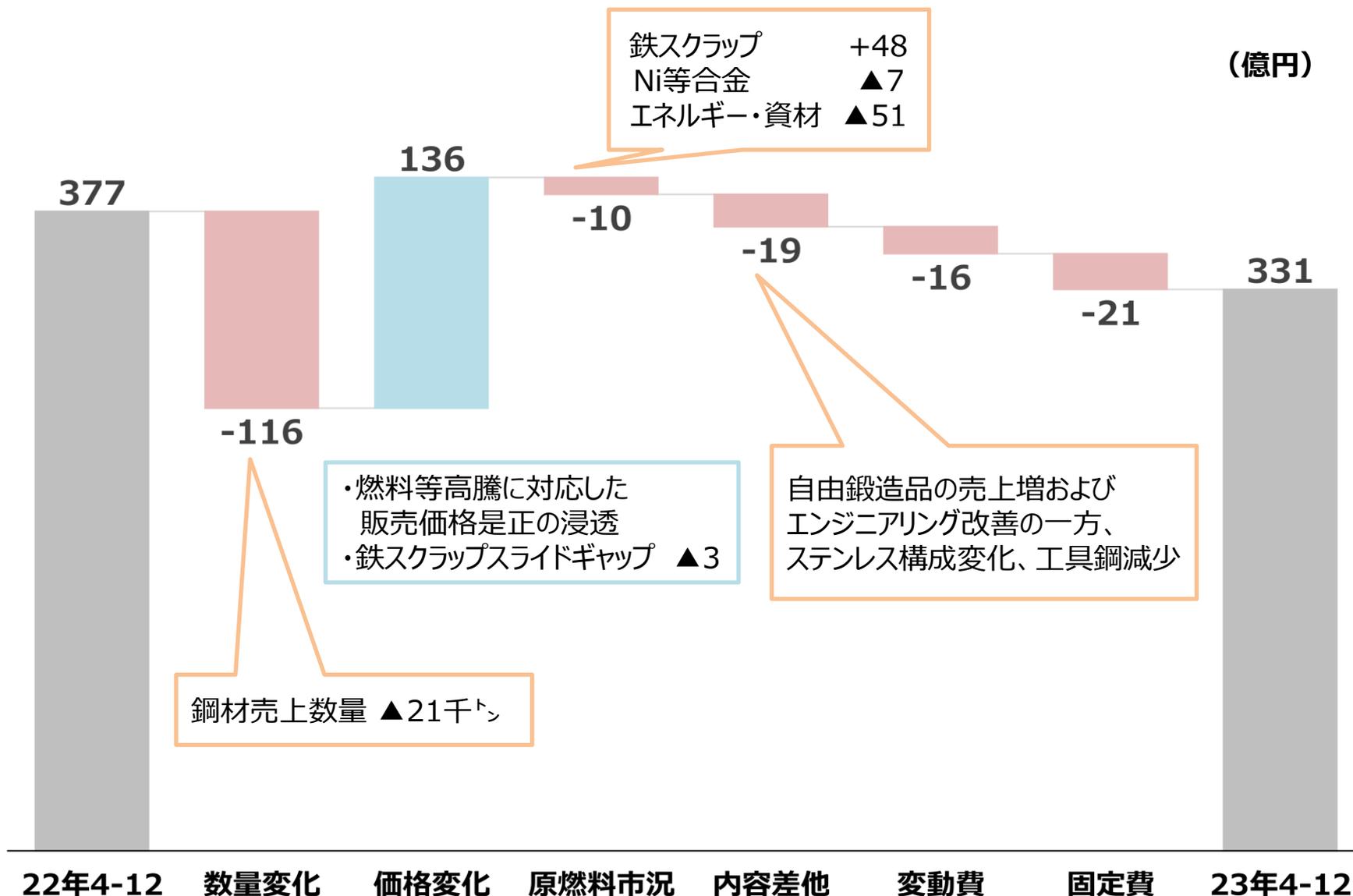
Mo(\$/Lb)



V(\$/Kg)

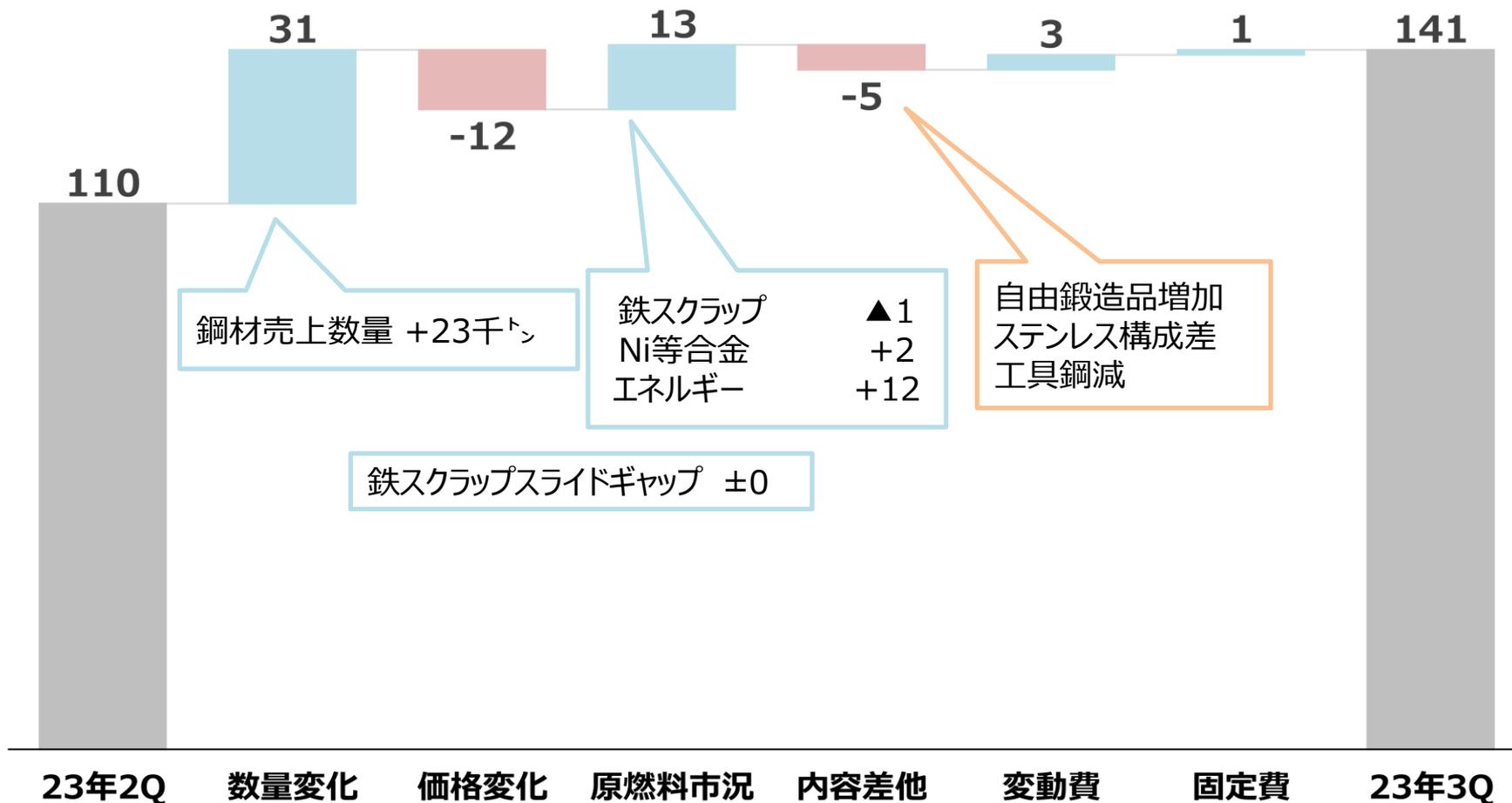


23年4-12 営業利益の変化要因(前年同期差)



23年3Q 営業利益の変化要因(2Q差)

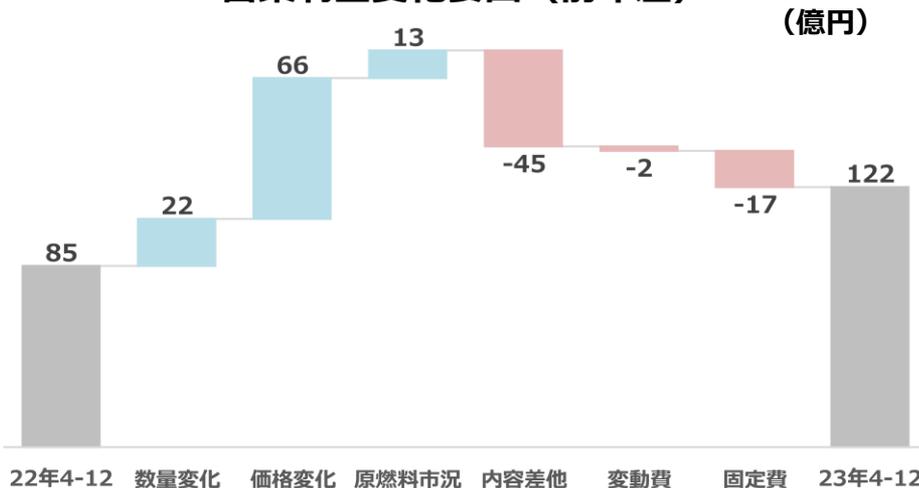
(億円)



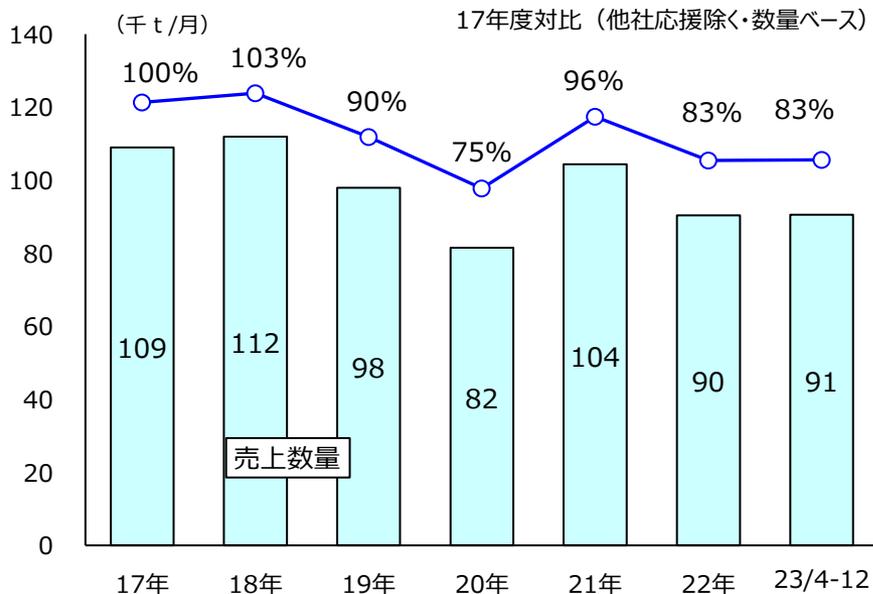
■ 特殊鋼鋼材概況

	22年度		23年度		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
	a	b	c	d	c-a	d-b
売上高	594	1,622	586	1,675	-8	53
営業利益	43	85	59	122	16	37
スライトキヤップ ^o	7	6	2	3	-5	-3

営業利益変化要因（前年差）



鋼材売上数量(単体)



POINT 1

自動車関連の構造用鋼は半導体供給制約が緩和されたことで堅調に推移した一方、工具鋼の在庫調整は継続。

POINT 2

エネルギーコストの上昇に対する販売価格是正が浸透してきた中、コスト上昇が落ち着いたため適正マージンを確保。

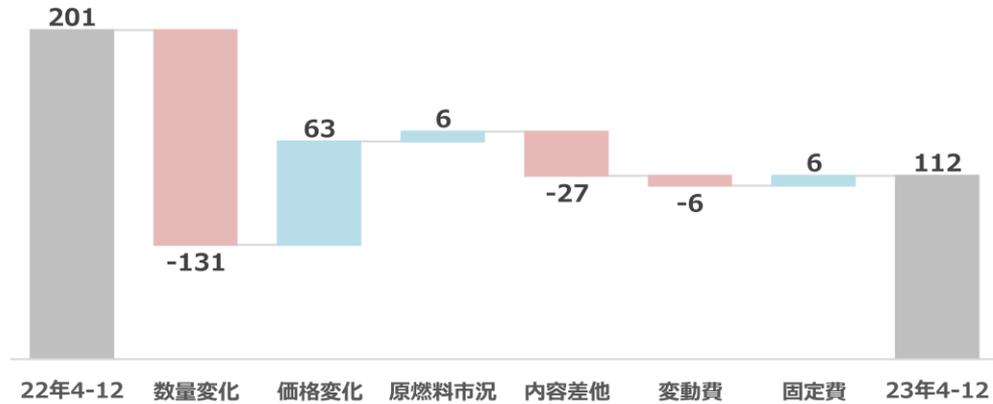
機能材料・磁性材料概況

(億円)

	22年度		23年度		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
	a	b	c	d	c-a	d-b
売上高	577	1,673	505	1,531	-72	-142
営業利益	67	201	41	112	-26	-89

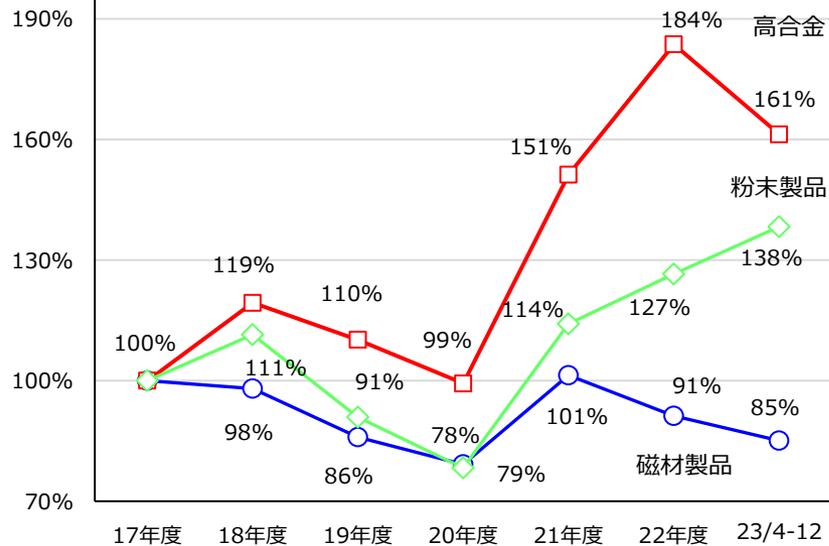
営業利益変化要因 (前年差)

(億円)



<高合金・磁材製品・粉末製品 (売上高)>

<17年度 = 100(金額ベース)>



POINT 1

半導体関連の受注減、在庫調整が長期化したことで出荷数量が減少し、営業利益は前年比で減益

POINT 2

産業機械関連はサプライチェーンでの在庫調整が継続しており、受注環境は低調

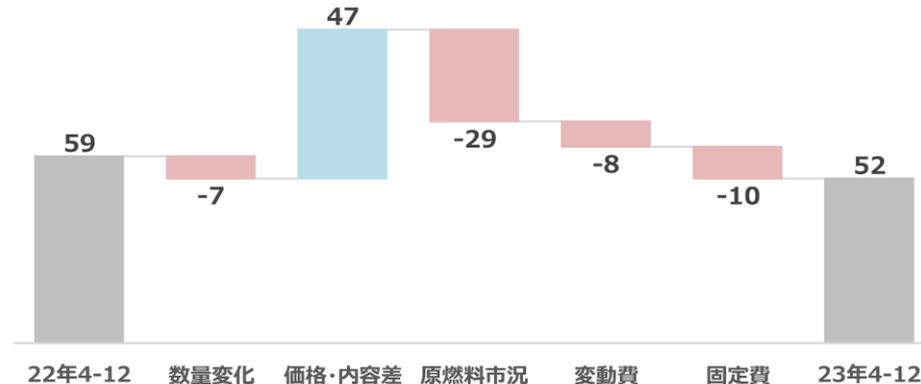
自動車部品・産業機械部品概況

(億円)

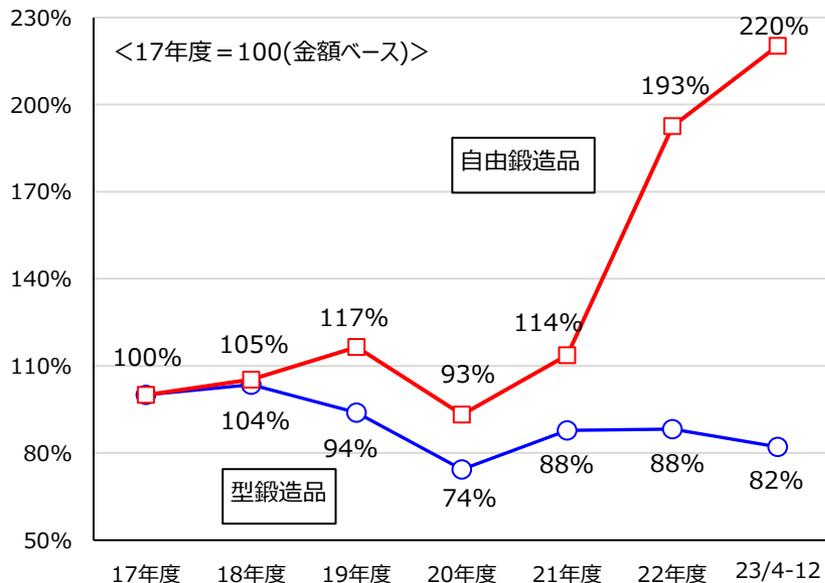
	22年度		23年度		前年差	
	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計	うち3Q	4-12計
	a	b	c	d	c-a	d-b
売上高	257	752	269	783	12	31
営業利益	25	59	26	52	1	-7

営業利益変化要因 (前年差)

(億円)



<型鍛造品・自由鍛造品 (売上高)>



POINT 1

自由鍛造品の受注は、エネルギー関連、航空機関連など各分野で好調を維持しており、安定的に利益を計上。

POINT 2

みがき帯製品および精密鋳造製品の受注減などにより営業利益は前期比減益。

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。